講義名	戦略的マーケティング論 授業形態			その他					
					適宜配	布する。			
担当教員	長田貴仁	開講期・曜日・時限 後期	金曜日 3 時限						
		単位数 2 履修開始年	次 2年生 ナンバリンク	•	11				
L DE L INTER		,	-12		- 1				
主題と概要 主題 マーケティング戦略。 概要: ブランド経営の基本概念を学ぶ、					授業計	围			
概要:ブランド経営の基本概念を学ぶ。					1. r 2. r	ブランド」について奥深く考える ブランド」発想とは			
					3.あな 4. 効ぎ 5. 新さ	たも食べたことがあるスナック菓子のブランド力 きしたけで選んでいると思っていた薬が意外と・・・ き根本第2に日田冷園駅から			
					6. 夏	1. 「ブランド, たついて奥深く考える 2. 「ブランド, 先思とは 3. あなたものへたこがあるフェック菓子のブランドカ 4. 効き自然けて達んでいると思っていた業が盛外と・・・ 5. 前日ま作るのでは、たいシットの関係 7. ポジショニッグとブランドの関係 8. 機能性食品 飲料)はブランド品だった 9. 男」はそ消してブランドのアンド島だった 9. 男」はそ消してブランドの方の会談を 10. サービスはブランドにあり、後来とは 11. オデルにブログランドにあり、後来とは 11. オデルにブログランドによるの電鉄会社 11. オデルにブログランドにした会社 11. スポーツの記載をプランドにした会社 14. セレブっぱくないのが格所いい 15. つつの企業が再数のブランドとした会社 14. セレブっぱくないのが格所いい			
					8.機能	能性食品(飲料)はブランド品だった いを消してブランドをつくった消臭剤 			
					11. ま 12. プ	11. まず先にプランドあり、を実践したあの電鉄会社 12. プランドがない協議がプランドに 13. プランドの全体 オーランドに			
					13.ス7 14.セリ	13. スポーツの記録をプランドにした受性 14. セレブっぱくないのが格好いい 15. 一つの企業が複数のブランドを展開する狙い			
到達目標					-	ンの正来が1980のフラントで成時をお出い			
到連目標					11				
2 . 就活、そして就職後も役立つ実践的理論を習得できる。									
提出課題					- 1				
適宜指示する。					┑┖				
					授業形	態(アクティブ・ラーニング)			
					1 ├─	ア: PBL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート	イ:反転授業(知識習得の要: エ:グループワーク	素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)	
						オ:ブレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク		
					キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	•			
				1 📖					
						準備学修 (予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 予習:2時間= テキストをどんどん読み進めること。			
課題 (レポートや小テスト等) に対するフィードバックの方法				復習:	2時間 = テキストをどんどん読み進めること。 2時間 = 講真中にメモした内容とテキストの内容を合体させ、「自分ノート」に記し、編集するこ 「日本経済新聞」(電子版も可)を読むこと。	د.			
Q&Aタイムを設け、質疑応答する。									
100 FF 4 19 20						卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 「知識を知恵に転換することができる。論理的思考力を持った人材、を有成するため			
評価の基準 明ましポートSOK 議義期間の求める提出物SOK					1 . 誤 2 . 以	結を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」を育成するため、 理趣発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査、整理することができる 復集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握することができる(情報分析力)	5(情報収集力)		
別ADA VM T I TOUR。 MARMININ TOUR OF DETINDUR。 今後、コロナウィルス感染拡大の状況変化に伴い、 講義形式の変更も想定されるが、そうなった場合でも成績評価方法は変更しない。 本講義は、現代ビジネス社会の評価基準である。 信責必罰 を選用する。					を高め	b&.			
民い店果を出した人は高く評価する。本講義開始後に守らない場合は、「契約速反」として処する。 「現代とジネスの基本」は契約する。「機管登録した段階で、以下の契約の海に同意したことになる。 1 「ネアカ のがなが、へこたわず、の政神を体因り、組織(ケラス)のモチベーションを高める結論含の途跡を目せた人は怒れ占として加占する									
期末レポート50%。講義期間内求める提出物50%。 今後、コロナウィルス思染拡大の状況変化に伴い。講義形式の変更も想定されるが、そうなった場合でも成績評価方法は変更しない。 本講義は、現代ビジネス社会の前極基である。信責必動」を適用する。 長い結果を出した人は高く評価する。本義期間物能に守らない場合は、「契約違反」として処する。 "現代ビジネスの基本」は契約である。 護権登録と応貨権で、以の契約内容に同意したことになる。 1. "ネアカ のびのび 人こたです。の前神各体接収、此の策略、いったの契約内容に同意したことになる。 1. "ネアカ のびのび 人こたです。の前神各体接収、此の策略、10分割内容に同意したことになる。 1. "ネアカ のびのび 人こたです。の前神各体接収、加減(クラス)のモケイーションを高める前向きの姿勢を見せた (は努力点として加点する。 1. "ネアカ のびのび 人こたです。の前神を体接収、加減(クラス)のモケイーションを高める前向きの姿勢を見せた (は努力点として加点する。 2. 記憶り、私語など、組織(クラス)を落とす途感行為、無務(投棄)を妨害する行動、発音については、効本値の設置と来める場合かある。その結果しだいで、大幅減点になることを認識し「大人としての行動」を心掛けて欲しい。					.				
(の行動」を心	ての行動」を心掛けて欲しい。								
履修にあたっての注意・助言他					双方向	授業の実施及びICTの活用に関する記述			
1. 原則として、1回につき、1金分の内容を講義する。テキストの予製、復居を欠かさないにと、ただ座り、ポート間いているという無度は護かで欲しい。講義中はノートに記す作業を怠らないにと、 2. 毎日、1日本経済前間、電子扱も可)を終めるし、18年ピラスス」、「東洋経済」、「デダイヤモンド」、「エコノミスト」などのビジネス週刊誌も定期的に目を適しておき、常に「情報武装」しておくことが望ましい。 3. テーマ表次の、それ関する記事をスクラップブックに貼り(デジタル処理してもいい)、熟読し関連情報を調べること。					: /2/31-3	13米ペスには入り100の1日に対する場合に			
3.テーマを決さ	ov. これ関する記事をスクラップブックに貼り(デジタル処理し	てもいい)、熟読し関連情報を調べる	こと。						
				宝務経	験の有無及び活用				
					_	MRXの 日本(次 U7日77) 経験あり。著名経営者やビジネスマン、技術者にインタビュー、執筆、編集した経験をもとに、現代	: ビジネスの実態について言及し、経営	学とジャーナリズムの観点から理論的・実践的知識を教授する。	
tals and other					4				
教科書 . 1 からのブラン	· 经营.	石井淳蔵・廣田章光(編著)	中央経済社 2,40	00円 ISBN978-4-502-38471-	-				
<u> </u>				4	/#: ±×				
参考図書					備考ビジネ	*ス誌編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助(准)教授に就任したのを皮切り	に大学の世界に入りました。その後	複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えてきました。	
7					その中	*ス誌編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助(准)教授に就任したのを皮切り 中には、親役社長も数名いらっしゃいました。これまでニューヨーク駐在の他、世界各国で多くのご を、学科(学会)に届まる立なご社会に向けて、分かり勢に国家学報目と制行います。シャーントを参信しています。私の最大の特別は、実際に戦後の日本経済の成長を支えた日本を代表する ます。	業エグゼクティブを取材してきました リズムを知る経営学者、経営学を知る	。経営学とビジネス・ジャーナリズムを統合した視座から論考したオピ ジャーナリストです。現在も、新聞、ビジネス誌などを中心に、執筆し ファンス・グラインのでは、対象をし	
] えだ	~~! セガロひしりはり。 仙少殿八少村倒は、 夫际に靱按の口や経済の成長を文スだ日本を代表する lます。	»∝∺1日にって美際に対話し(さたこと	こっ。 ここかつ时に叫えて土かし、「土さに絵画子」を教授したいと考	
					1				